

伊奈学園総合高等学校同窓会 2016年度定期総会

日時：2016年9月4日（日）13:00～

場所：伊奈学園総合高等学校 外国語棟3階（第6学習室）

式次第

○開会挨拶

○議案審議

- ・ 議案第1号 2015年度事業報告
- ・ 議案第2号 2015年度決算報告（案）
- ・ 議案第3号 2015年度監査報告（案）
- ・ 議案第4号 2016年度事業計画（案）
- ・ 議案第5号 2016年度予算計画（案）
- ・ 議案第6号 2017年度事業計画（案）
- ・ 議案第7号 2017年度予算計画（案）
- ・ 議案第8号 いなほ基金の廃止について

○人事案

- ・ 2016年度役員人事（案）
- ・ 2017年度役員人事（案）
- ・ 理事名簿（2016年3月31日現在）

○閉会挨拶

議案第 1 号 2015年度事業報告

1 一般活動報告

- 2015年6月21日(日) 18:00～21:30 第1回四役会
2015年7月12日(日) 13:00～17:00 第1回理事会
2015年9月6日(日) 13:00～16:00 定期総会
2016年1月10日(日) 18:00～20:00 第2回四役会
2016年2月14日(日) 13:00～17:00 第2回理事会
2016年3月14日(月) 15:30～16:00 第30期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動報告

2.1 会報誌編集委員会

2015年8月に inajin37号を発行した。

伊奈学園創立 30 周年を機に発行回数を年 1 回(夏)とし、配布対象を全正会員として配布をしている。これに伴い、以前のルールに沿って卒業後 11 年目以降の継続送付会費を収めた正会員に対して、公平を期するために、支払った継続送付会費を全額返還する(もしくは同窓会に寄付して頂きたい)旨本誌に記載している。2015 年度は 1 名の返金希望があり、全額を返した。なお、返金を開始した 2012 年度からの累計で 21 名に返金を行い、6 名から寄付の申し出があった。継続送付会費を収めた正会員は 132 名おり、残り 105 名について返金または寄付のどちらを希望するか不明となっている。

ここ数年懸念されていた制作スタッフへの負担は体制改革により大分軽減されており、依然として制作スタッフの不足は否めないものの、安定的な発行が可能となりつつある。また、編集委員会単独でのトップページ人選等の回避を試みて、四役会、理事会でのチェック機会を増やしたこと、諸事情により会報誌の送付を望まない正会員がいたことに配慮し、送付中止の要望を受け付ける旨を返信用はがきで対応すること、学校渉外部との連携の強化を達成した。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2015 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 29 期生 779 名を会員名簿に追加した。2016年3月末現在の正会員数および2015年度の会員名簿の更新状況は別紙1のとおり。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2015年度のウェブサイト更新実績は、別紙2のとおり。その他、以下の取り組みを行った。

- ・ウェブサイトを構成するシステムの改新
- ・サーバ及びドメインの移行
- ・新ウェブサイト製作 (<http://www.ina-doso.net>)

新しいウェブサイトの製作にあたって、そのデザイン案、追加予算は 2015 年の定期総会にて承認された。

新たに開設されたレンタルサーバー、Xserver は、メーリングリスト・メルマガ機能が充実しており、管理・更新も理解し易く容易なことから、今後幅広く活用して行きたい。

2.4 ホームカミングパーティ運営委員会

2015年10月17日に第19期のホームカミングパーティを開催した。開催状況は別紙3のとおり。

また、20期生が卒業してちょうど10年となる2016年度開催に合わせて「未来へのはがき」の確認作業を行った。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

2015年11月19日（木）15時から伊奈学園にて希望者を対象として、卒業生による講演会を開催した。開催状況は別紙4のとおり。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイト講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集した。

2.6 年次活動推進委員会

- ・2015年度の年次理事補助金制度の利用は無かった。
- ・理事が理事会に出席する際の交通費の申請について、WEB に申請フォームを設置し簡便に申請が行えるように整備した。
- ・理事の現況登録フォームを用いて、理事連絡先の整備を行うとともに、らくらく連絡網を使用してのメーリングリストへの登録を進めた。
- ・2016年3月30日（水）に30期の新入理事に対する同窓会活動の説明会を開催した。開催状況は別紙5のとおり。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、2015年7月12日（日）に第8回の「いなじんたまり Bar」を開催した。開催状況は別紙6のとおり。

2.8 会則改正検討委員会

2015年度に検討する課題は無かった。

2.9 同窓会30周年記念事業実行委員会

2016年10月2日（日）の「大人のいなほ祭」開催に向けて、11月6日（金）に第2回実行委員会を開催した。また、会場となる「けんかつ」の開催イメージをつかむため、11月14日（土）に「いきいきフェスティバル」の視察を行った。詳細は別紙7のとおり。

議案第2号 2015年度決算報告（案）

別紙8参照

議案第3号 2015年度監査報告（案）

別紙9参照

議案第4号 2016年度事業計画（案）

1 一般活動計画

- | | | |
|---------------|-------------|------------------------|
| 2016年6月11日（土） | 18:00～21:30 | 第1回四役会 |
| 2016年7月9日（土） | 18:00～21:30 | 第1回理事会 |
| 2016年9月4日（日） | 13:00～16:00 | 定期総会 |
| 2016年10月2日（日） | 9:00～17:00 | 同窓会創立30周年記念事業（大人のいなほ祭） |
| 2017年1月8日（日） | 13:00～17:00 | 第2回四役会 |
| 2017年2月5日（日） | 13:00～17:00 | 第2回理事会 |

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOGの活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2016年度も引き続き年1回(夏)発行し、全正会員に配付することとしたい。(配布対象については、卒業後11年目以降の正会員にも継続して配布したい。定期的に会報誌を届けることにより、同窓会活動に興味を持ってもらい、同窓会活動に積極的に参加してもらうよう促すことを目的とする。卒業後10年間に限定していた頃に比べて2012年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。)

特に今年度は同窓会30周年も控えているので、できる限り多くの人に周知できるように会報誌を活用したいと考えている。

会計報告では、継続送付会費の返還について105名の意思が確認できていない。全員への返還(または寄付)が終わるまでは会報誌上にお知らせを記載する予定なので、今年度も掲載予定。

継続的懸念事項としては、年間に約800人正会員が増加することから、印刷・送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、印刷及び全員送付は困難になるものと考えられるので、名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と連携し、常に会員数の増減に注意して状況に対応できるようにする。印刷・送付に代わる全員配布方法も継続して模索したい。

収入についても、ページ数を増やして広告スペースを増やし、広告収入を増やすべきだという意見や、広告収入を一切やめてもよいのではという意見など、様々でているので検討していきたいと思う。また、いなほ基金の廃止の検討など、紙面への影響がある懸案もでているので対応するとともに、将来的な制作費や郵送資金を確保するために「Inajin 基金」(仮)などを検討したい。

2016年度は昨年度より増加する発行部数となる予定であり、コストの上昇が懸念されるのでしっかりと関係各位と交渉し予算内に収まるようにする。**別紙10**参照

2.2 会員名簿維持管理委員会

2016年3月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる30期生約800名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

会員名簿の管理システムが古くなったことから、信頼性向上のためシステムの更新を行う。**別紙11**参照

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。その他、以下の取り組みを行う。

- ・旧サーバー(arena)の解約(2017年3月を予定)
- ・新ドメイン取得による、四役・委員会専用メールアドレスの設定・配布
- ・新ドメインによるメーリングリストの見直し
- ・各書類のウェブ活用推進 ※Google スプレッドシート(Googleのエクセルに該当)
- ・サイボウズ(無料アカウント)などを活用し、四役内の承認・臨時議事などをウェブ上でやり取りできるよう推進
- ・ウェブサイト維持管理委員会の事業見直し

2.4 ホームカミングパーティ運営委員会

20期生が卒業して10年が経過したことから「未来へのハガキ」を返却する。高校卒業後10年ぶりに届く自分自身からのハガキは、高校生当時を思い出すきっかけとなり、その思いをぜひ同窓会活動に生かしてほしいと考えている。

送付に際しては、名簿管理上で住所が有効な人を対象とし、料金別納郵便を利用して切手貼付の手間を省く。また、予算上は定型外郵便料金（120円）を見込んだが、ハガキの表面下半分が空いていることから、ハガキをそのまま返送したい。

ハガキの表面下半分には、改めて同窓会に興味を持ってもらい、Inajinの購読やウェブサイトへのアクセス増加につながることを期待して、同窓会ウェブサイトのURLおよびQRコード、同窓会30周年記念事業の案内、などを印刷する。

また、20期生を対象としたホームカミングパーティーを2016年10月1日（土）に大宮の東天紅で開催する。昨年度と同程度の規模を予定していることから、開催に必要な経費は別紙12のとおり。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をさせていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTAおよび後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2016年11月を予定。別紙13参照

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトに講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。その他、以下の提案を行う。

2.6.1 年次理事組織補助金制度の廃止

年次活動推進委員会の計画の1つとして運営していた年次理事組織補助金制度の廃止を提案する。

この補助金制度は、理事が開催する各年次単位のイベントに対し、参加者が10名以上の場合に1人あたり1,000円、年間最大50,000円までの補助金を支給している。

この制度の目的は、「年次イベント等を企画運営することにより同窓会活動の活性化を目指す。また、理事会への参加等同窓会との関わりを持ってもらい、同窓会全体の活動の中心とする。」としていたが、2011～2015年までの利用実績は以下（参考）のとおりごく僅かとなっており、同窓会活動の活性化につながっていない。

また、この制度の利用を切欠に理事になった方で、その後の理事会に出席している理事は少なく、目的の1つにある「理事会への参加」を促す効果についても期待できないことから、年次理事組織補助金制度を2016年度で廃止する。

（参考）年次活動支援事業費の実績推移

事業年度	利用年次	参加人数	補助金額	事業年度	利用年次	参加人数	補助金額
2011	(打合せ)	-	1,150	2014	4期	15	15,000
2012	11期	94	50,000	2014	19期	101	50,000
2013	24期	19	19,000	2015	-	-	0

2.6.2 理事 ML の整理

現在、理事 ML が① 旧サーバー (Web Arena)、② 「らくらく連絡網」 (無料サービス)、③ 新サーバー (Xserver) の 3 種類存在する。

このうち、①については 2016 年 9 月の総会で承認後に解約するため、利用者が判らないアドレスを抽出し、生きている連絡先を確認する (旧サーバー解約時に 利用終了)。

②については旧サーバーでは名前が判らないアドレスがあったため、名前と連絡先の把握のために 2014 年に立ち上げたが、無料サービスのため登録するかどうかは利用者次第であること、一覧表の出力機能もなく管理者が把握できないこと、などから出席人数の把握や資料配布のみに利用を限定する。

③は立ち上げ時に①の登録内容をそのまま移行しているが、①のとおり連絡先として有効ではない内容も含まれていることから、利用者を特定して今後継続して使用する ML として整備する。

2.6.3 理事説明会の開催

2017 年 3 月に卒業する 31 期の新入理事に対する同窓会活動の説明会を開催する。別紙 14参照。

以前より理事会の出席率が伸びず、同窓会の活性化を図る上で問題視されている (理事の理事会出席人数は以下 (参考) のとおり)。

(参考) 理事会出席人数の推移 (四役およびオブザーバー参加者を除く)

事業年度	開催日	出席人数	事業年度	開催日	出席人数	事業年度	開催日	出席人数
2012	7/8	9	2013	7/7	5	2014	7/6	7
	3/16	6		3/9	2		2/15	10
2015	7/12	8						
	2/14	5						

理事会に出席してもらうためには、まずは同窓会活動に理解を深めてもらう必要があるため、昨年度に理事説明会を開催した。今年度も同様に新入理事を対象とした説明会を開催する。

開催日は新入理事の出席できる人数が多い日とし、2017 年 3 月の同窓会入会式で勧誘および日程調整を行う。なお、同窓会理事としての役割を担ってもらうことから、新入理事には同窓会「理事」の肩書の名刺を配布する。

(費用見積り)

項目	金額
名刺代@2,400×6 名	14,400 円
飲食代@2,000×15 名	30,000 円
交通費@1,000×15 名	15,000 円
雑費	600 円
計	60,000 円

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

- ・2016 年 5 月 22 日 (日) に「鉄板焼き あいろん亭」で「いなじんたまり Bar」を開催した。
- ・年 2 回の開催とし、下記の通り開催内容を工夫する。
- ・参加人数を増やし、多世代の交流を活発にさせる。

開催内容の工夫

1. 毎回興味が湧くテーマを設けて、付加価値をつけていく。
2. 委員会のメンバー内で役割分担をして、効率よく入念な準備ができるようにする。

3. 参加者は名簿にして、プロフィールを作成し、話しかけやすい環境をつくる。

2.8 会則改正検討委員会

名簿登録情報の扱い（同窓会名簿登録変更申請「登録情報の扱いについて〈詳細はこちら〉」に掲載）等、これまでの内規の整備を進める。

2.9 同窓会30周年記念事業実行委員会

2016年10月2日（日）に「大人のいなほ祭」を開催する。別紙15参照

議案第5号 2016年度予算計画（案）

2015年9月6日（日）の総会で承認された予算について、以下の項目を変更する。修正後の予算計画は別紙16のとおり。

- ・ 会報誌継続購読料繰入収入について、2015年度決算を踏まえ、特別会計の残額に修正した。
- ・ 備品費について、会員名簿維持管理に使用する PC およびソフトウェアが老朽化し、信頼性が低下していることから、システムの更新費用を見込んだ。
- ・ 会報誌制作費および会報誌印刷費について、未来へのはがき制作費の HCP 事業費に移行分を減額した。
- ・ HCP 事業費について、2015年度と同程度の規模を予定していることから、開催に必要な経費を見込むと共に、20期への未来へのはがき返送代を HCP 事業費に含めることとした（これに伴い「未来へのはがき返送費」は費目を廃止する。）。
- ・ 年次活動支援事業費について、補助金制度の廃止と理事説明会の開催を踏まえ、理事説明会の必要経費分に修正した。
- ・ 会報誌継続購読返金（過年度分）について、2015年度決算を踏まえ、特別会計の残額から返金に充当する分に修正した。
- ・ 前期繰越収支差額の修正を受け、予備費に差額を計上した。
- ・ 2015年度決算を踏まえ、前期繰越収支差額を修正した。

修正前		修正後	
I 収入の部		I 収入の部	
4. 会報誌継続購読料繰入収入	516,573	4. 会報誌継続購読料繰入収入	509,627
II 支出の部		II 支出の部	
1. 運営費		1. 運営費	
備品費	50,000	備品費	260,000
2. 事業費		2. 事業費	
会報誌制作費	800,000	会報誌制作費	775,000
会報誌印刷費	750,000	会報誌印刷費	710,000
HCP事業費	50,000	HCP事業費	450,000
年次活動支援事業費	500,000	年次活動支援事業費	60,000
未来へのはがき返送費	85,000		
会報誌継続購読返金（過年度分）	496,573	会報誌継続購読返金（過年度分）	489,627
3. 予備費	0	3. 予備費	2,081,797
前期繰越収支差額	0	前期繰越収支差額	4,581,797

議案第6号 2017年度事業計画（案）

1 一般活動計画

2017年6月 第1回四役会

2017年7月 第1回理事会
2017年9月 定期総会
2018年2月 第2回四役会
2018年3月 第2回理事会
2018年3月 第32期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOGの活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2017年度も引き続き年1回（夏）発行し、全正会員に配付することとしたい。（配布対象については、卒業後11年目以降の正会員にも継続して配布したい。定期的に会報誌を届けることにより、同窓会活動に興味を持ってもらい、同窓会活動に積極的に参加してもらうよう促すことを目的とする。卒業後10年間に限定していた頃に比べて2012年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。）

会計報告では、継続送付会費の返還について105名（2015年度時点）の意思が確認できていない。全員への返還（または寄付）が終わるまでは会報誌上にお知らせを記載する予定なので、今年度も掲載予定。

懸念事項としては、年間に約800人正会員が増加することから、印刷・送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、印刷及び全員送付は困難になるものと考えられるので、名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と連携し、常に会員数の増減に注意して状況に対応できるようにする。印刷・送付に代わる全員配布方法も模索したい。

収入についても、ページ数を増やして広告スペースを増やし、広告収入を増やすべきだという意見や、広告収入を一切やめてもよいのではという意見など、様々でているので検討していきたいと思う。将来的な制作費や郵送資金を確保するために「Inajin 基金」（仮）などを検討、運用したい。

2017年度は昨年度を少し上回る発行数となる予定であるが、予算内に収まるよう調整する。別
紙17参照

2.2 会員名簿維持管理委員会

2017年3月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる31期生約800名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

- ・同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。
- ・前年度のウェブサイト訪問者数をGoogleアナリティクスを使って集計し、報告する。
- ・四役や理事が任意で同窓会活動などをウェブサイトに掲載できるよう、マニュアル作成などを行う。
- ・ina-doso.netの各メールアドレス・メーリングリストの更新

2.4 ホームカミングパーティ運営委員会

21期生対象のホームカミングパーティーを実施する。また、「未来へのハガキ事業」による活

動を計画する。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2017年11月を予定。[別紙18](#)参照

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。

2.8 会則改正検討委員会

名簿登録情報の扱い（同窓会名簿登録変更申請「登録情報の扱いについて〈詳細はこちら〉」に掲載）等、これまでの内規の整備を進める。

議案第7号 2017年度予算計画（案）

2016年度予算から以下の項目を変更する。[別紙19](#)参照

- ・備品費について、2016年度にシステムの更新が完了することから、2015年度と同額を見込んだ。
- ・会報誌等印刷費および会報誌通信費について、卒業生追加に伴う送付先の増分を見込んだ。
- ・同窓会30周年記念事業に伴う予算項目を廃止した。

2016年度予算（案）	2017年度予算（案）
II 支出の部	II 支出の部
1. 運営費	1. 運営費
備品費 260,000	備品費 50,000
2. 事業費	2. 事業費
会報誌等印刷費 710,000	会報誌等印刷費 750,000
会報誌通信費 1,700,000	会報誌通信費 1,730,000
同窓会30周年記念事業費 1,250,000	

議案第8号 いなほ基金の廃止について

「いなほ基金」は伊奈学園の部活動、催事等において同窓生からの金銭的支援にのみ使用することを目的として設立されたが、現在まで使用実績がないこと、また、埼玉県では個人・団体（同窓会やPTAなど）・企業の寄付金は、「埼玉県教育環境整備基金」として県内の公立学校で分配されるように「埼玉県教育環境整備基金条例」で定められたことから、伊奈学園のみを支援するためには物品等を購入するなど現金以外の手段を取ることになり、使い勝手が悪い。そこで、同基金を廃止するとともに残高1,061円を一般会計に繰り入れることを提案する。

伊奈学園同窓会 2016 年度役員人事（案）

（★印以外は 2015 年度定期総会にて承認済み）

役 職	氏 名	年次等	担 当
会 長	いしかわ たけし 石川 剛	8 期	
副 会 長	た な か けんいち 田中 健一	4 期	名簿維持管理委員会
副 会 長	はたけやま あつし 畠山 篤士	6 期	いなじん交流推進委員会
専門委員長	★ ふなさき た み こ ★ 船崎 多美子	2 期	年次活動推進委員会
専門委員長	じょうぐち あつひろ 城口 敦弘	4 期	会則改正検討委員会
専門委員長	むらまつ たけし 村松 猛	4 期	同窓会 30 周年記念事業実行委員会
専門委員長	か とう あゆむ 加藤 歩	10 期	ウェブサイト維持管理委員会
専門委員長	はやさか たくのり 早坂 拓紀	13 期	会報誌編集委員会
専門委員長	こむらかた けん 小村方 健	19 期	ホームカミングパーティ運営委員会
専門委員長	はまの たくや 濱野 拓也	24 期	先輩と夢を語ろう実行委員会
理 事	（別紙参照）		
監 事	きくち のりお 菊地 則夫	1 期	
監 事	ごとう まさひろ 後藤 昌弘	1 期	
会 計	もりした りょうすけ 森下 凌介	24 期	
顧 問	よしおか ひでき 吉岡 秀樹	現学校長	
顧 問	はら まさゆき 原 雅之	1 期	
顧 問	かねこ けいいち 金子 桂一	3 期	

伊奈学園同窓会 2017 年度役員人事（案）

（★印以外は 2015 年度定期総会にて承認済み）

役 職	氏 名	年次等	担 当
会 長	<small>いしかわ たけし</small> 石川 剛	8 期	
副 会 長	<small>た な か けんいち</small> 田中 健一	4 期	名簿維持管理委員会
副 会 長	<small>はたけやま あつし</small> 畠山 篤士	6 期	いなじん交流推進委員会
専門委員長	<small>じょうぐち あつひろ</small> 城口 敦弘	4 期	会則改正検討委員会
専門委員長	<small>むらまつ たけし</small> 村松 猛	4 期	同窓会 30 周年記念事業実行委員会
専門委員長	<small>か とう あゆむ</small> 加藤 歩	10 期	ウェブサイト維持管理委員会
専門委員長	<small>はやさか たくのり</small> 早坂 拓紀	13 期	会報誌編集委員会
専門委員長	<small>こむらかた けん</small> 小村方 健	19 期	ホームカミングパーティ運営委員会
専門委員長	<small>はまの たくや</small> 濱野 拓也	24 期	先輩と夢を語ろう実行委員会
専門委員長	欠 員		年次活動推進委員会
理 事	（別紙参照）		
監 事	<small>きくち のりお</small> 菊地 則夫	1 期	
監 事	<small>ごとう まさひろ</small> 後藤 昌弘	1 期	
会 計	<small>もりした りょうすけ</small> 森下 凌介	24 期	
顧 問	<small>よしおか ひでき</small> 吉岡 秀樹	現学校長	
顧 問	<small>はら まさゆき</small> 原 雅之	1 期	
顧 問	<small>かねこ けいいち</small> 金子 桂一	3 期	

伊奈学園同窓会理事名簿

2016/9/4現在

年次	氏名 1 (敬称略)	氏名 2 (敬称略)	氏名 3 (敬称略)	氏名 4 (敬称略)	氏名 5 (敬称略)	氏名 6 (敬称略)	氏名 7 (敬称略)
1期	青木 かおり	長野 啓江	針谷 信二				
2期	大崎 哲司	川窪 葉子	中根 一幸				
3期	氏家 健司	駒井 香子	小室 雅成	武井 洋人			
4期	永井 愛	藤 裕之					
5期	岡部 忠亮	北野 真					
6期	菊池 孝一						
7期	乾 理	大塚 一慶	箱田 卓也	渡辺 敏光			
8期	菅原 文仁						
9期	岩崎 一彦	高橋 彰宏					
10期	石松 恒	野川 太樹	矢部 雅志				
11期	新井 兼	越智 浩一	佐藤 千恵美	鹿野 智孔			
12期							
13期	伊藤 靖剛						
14期	佐野 大輔						
15期	前島 沙織						
16期							
17期	石川 佳央里						
18期	開 真紀						
19期	小林 香	鈴木 信博					
20期							
21期	奥山 宏美	野本 麻恵					
22期	坂井 望						
23期	山田 篤寛						
24期	藤間 朱美	濱田 祐輔	山田 暢史	八幡 佑里			
25期	薄木 翔子	大槻 早	坂上 弥生	佐野 模哉	菅原 美咲		
26期	北澤 拓夢	小谷野 愛巳	斉藤 淳	田中 喬祐	二村 亜里沙		
27期	郷田 光希	濱野 ひと美	森 亮樹				
28期	梅村 勇斗	関口 真史	中久保 まり子				
29期	井野 志保	大久保 将利	大山口 梨乃	大鷲 芹奈	椎名 有明乃	野口 真也	藤原 環
30期	鄭 世任	橋野 正樹	谷津 有紗				

グレー文字以外は2015年度定期総会で承認済